

令和3年度の献血の推進に関する計画（案）に対する意見募集結果について

令和2年12月  
厚生労働省医薬・生活衛生局  
血液対策課

令和3年度の献血の推進に関する計画（案）について、令和2年11月10日から令和2年11月30日まで電子政府の総合窓口（e-Gov）に掲載することを通じて御意見を募集したところ、7件の御意見（うち今回の意見募集と直接関係しない御意見1件）をいただきました。

今般、お寄せいただいた御意見とそれに対する回答については、別添のとおりです。なお、いただいた御意見については、適宜要約した上で記載しております。

今後とも厚生労働行政の推進に御協力いただけますよう、よろしく願いいたします。

令和3年度の献血の推進に関する計画(案)に関する意見募集に寄せられた御意見とそれに対する考え方

○ 意見募集期間 令和2年11月10日～令和2年11月30日

番号	御意見	御意見に対する考え方
1	<p>献血所へ行ったものの、服薬状況などによって献血が行えないというようなことにならないよう、広報活動等を強化してほしい。</p> <p>具体的には、「ラブラッド」など献血関連のホームページに検索機能を搭載し、服用している処方箋等を検索すれば、献血の可否又は事前相談が必要といった結果を表示するようにしてほしい。</p> <p>服薬以外にも献血所では問診があるが、献血を予約しているような場合は、当日にウェブ上で事前回答できるようにしてほしい。献血の意思を持っている人の気持ちを沮喪させないことも重要だと考える。</p>	<p>日本赤十字社では、「献血者の利便性の向上」の一環で「ラブラッド」によるWEB予約を進めております。</p> <p>頂いたご意見は、日本赤十字社に提供するとともに、今後の施策の検討を行うに当たっての参考とさせていただきます。</p>
2	<p>献血に数回行きましたが、献血ルームは混んでおり長時間待たされるので、献血を見送った時もあります。予約してまで行くのは面倒です。私の父は献血に行こうと思っていましたが、ある程度の年齢の人の血は捨てられているという噂を聞いて、やめたそうです。</p> <p>また、献血ルームは近くに無いのですが、移動献血車はタイミングが合いません。私は献血して助かる命があるなら喜んで行きたいですが、上記のような理由でできない、しない者もいるということを知って欲しいです。</p>	<p>採血基準は献血者の健康保護を第一に考慮しつつ、献血の推進及び血液の有効利用の観点から設けられたものです。善意によりいただいた血液を「ある程度の年齢の人の血」という理由で破棄することはありません。</p> <p>日本赤十字社では、立地条件等を考慮した採血所の設置、地域の実情に応じた献血受入時間帯の設定及び移動採血車による計画的採血、「ラブラッド」によるWEB予約の推進を進めております。頂いたご意見は、日本赤十字社に提供するとともに、今後の施策の検討を行うに当たっての参考とさせていただきます。</p>
3	<p>年間の献血可能回数の見直し(回数増加)</p> <p>企業への献血休暇推進の要請をお願いします</p>	<p>献血可能回数の見直しについては、本計画案において「国は、献血者の健康保護を第一に考慮しつつ、献血の推進及び血液の有効利用の観点から、採血基準の見直しを検討する。」こととしています。</p> <p>また、企業への献血強化推進の要請については、本計画案において「企業等は、作業員等に対し、ボランティア活動の一環として献血に協力するよう呼びかけるとともに、献血のための休暇取得を容易に伝えるよう配慮するなど、進んで献血しやすい環境づくりを推進することが望ましい。」こととしています。</p> <p>頂いたご意見は、今後の施策の検討を行うに当たっての参考とさせていただきます。</p>
4	<p>「普及啓発により献血を推進する」といっても、簡単には進みそうにありません。</p> <p>リピーターを増やす施策が一番いいと感じます。若者には(に限りませんが)何らかの目に見えるメリットがないと受けないでしょう。献血でしかもらえないものとタイアップしたらいかがでしょう。</p> <p>形だけのものをいくつもやるより、効果のあるものに集中してほしい。</p>	<p>頂いたご意見は、日本赤十字社に提供するとともに、今後の施策の検討を行うに当たっての参考とさせていただきます。</p>

番号	御意見	御意見に対する考え方
5	<p>献血については、その時の需要にあった献血をお願いすべきだと思います。以前はよく成分献血を勧められたのですが、全血についても積極的に勧める等必要な計画推進を行った方が良くと思います。</p> <p>成分献血の血小板については、1回で2回換算ではなく男性は検査次第で1.5回換算にしても問題ないと思われます。また全血についても体重が80kgを超えている男性については年間3回を4回にしても問題ないと思います。献血推進キャンペーンについては、知名度が高いキャラクター、プレミアムがつくような景品をつける事は慎重にしてほしい。</p> <p>また、キャンペーンをやり過ぎると通常時に来なくなってしまう事もある。学校等で献血促進を図る事は結構ですが、献血できない(既往症がある等)学生もいて、学校等で半強制に献血をやらせるような事はやめた方が良くと思います。これは企業でも同じです。</p> <p>献血基準で脈拍基準で1分で100回を超えると除外することには賛成。</p> <p>献血については、平日に行う人がどうしても少なくなるのでボランティア休暇が使えるようにする等企業等に働きかけを行う等行った方が良く。また、献血要請があった場合には特別休暇を取る事を認める等休暇制度を改めてはどうか。</p> <p>献血ルームでは予約を推進しているが、初めて献血をしようとする人は予約の存在を知らないため受付で待ち時間を聞いて断念することがある。</p> <p>全くの初回の人でも予約した人と同じように待ち時間を少なくする事等を考えてはどうか。</p>	<p>採血基準については、本計画案において「国は、献血者の健康保護を第一に考慮しつつ、献血の推進及び血液の有効利用の観点から、採血基準の見直しを検討する。」こととしています。頂いたご意見は、日本赤十字社に提供するとともに、今後の施策の検討を行うに当たっての参考とさせていただきます。</p>
6	<p>献血の推進には、献血をした者に提供されている、血液検査結果の通知サービスの充実が有用ではないかと考える。特に、尿酸値の通知を行うようにすると、健康に関心がある者の、継続的な献血意欲の後押しが発生するのではないかと考えられる。尿酸をはじめとした血中成分のいくつかについて、血液検査結果の通知サービスでの追加を行う事を検討していただきたいと考える。</p> <p>広告については、実写のものは廃止し、主として「けんけつちゃん」を使用した、オーソドックスなポスターによって、行うようにされたい。(ただし、「はたちの献血」は例外)</p>	<p>日本赤十字社では、採血に際して献血者の健康管理に資する検査を行い、献血者の希望を確認してその結果を通知しております。頂いたご意見は、日本赤十字社に提供するとともに、今後の施策の検討を行うに当たっての参考とさせていただきます。</p>